

		F9	F10	F11	F12
株式会社 岩手ソフトウェアセンター			F5	F&	Esc
共催:岩手県情報サービス産業協会				F7	F8
		F1	F2	F3	F4
		Insert	Home	Page Up	

2024 年度 研修のご案内

Seminar Guide

Ver.1.0

2024.4-2025.3

U	I	O	P 『	` ¢ @ `	{ 「 [°	Enter	Delete	End	Pa Do
J	K	L	+ 』 ;	* :] 」 }	↩		↑	
N	M	< , ,	> ° .	? ° /	 	↑ Shift	←	↓	→

2024年度研修開催スケジュール

研修名	受講料 (税込)	日数	開催日	時間	掲載 ページ
1. 新入社員研修					
コンピュータシステムの基礎	¥56,100	3日間	4月 5・8-9日	9:00~17:30	P.6
システム開発の基礎	¥56,100	3日間	4月 10-12日	9:00~17:30	P.6
Java プログラミング① 基礎と実践	¥93,500	5日間	4月 15-19日	9:00~17:30	P.7
Java プログラミング② オブジェクト指向	¥149,600	8日間	4月 23-26・30日 5月 1-2・7日	9:00~17:30	P.8
データベース入門	¥74,800	4日間	5月 8-10・13日	9:00~17:30	P.9
ネットワーク基礎とWEBページ作成実習	¥56,100	3日間	5月 14-16日	9:00~17:30	P.9
サーバーサイドプログラミング	¥112,200	6日間	5月 17・20-24日	9:00~17:30	P.10
最終課題 アプリケーションの設計と実装	¥149,600	8日間	5月 27-31日 6月 3-5日	9:00~17:30	P.10
2. 一般情報処理技術					
C#プログラミング基礎	¥55,000	2日間	6月 26-27日	9:30~17:30	P.11
Java プログラミング基礎	¥55,000	2日間	7月 29-30日	9:30~17:30	P.11
NEW Rust プログラミング基礎	¥55,000	2日間	7月 18-19日	9:30~17:30	P.11
HTML5とCSS3による Web サイト作成	¥55,000	2日間	ご相談ください	9:30~17:00	P.12
Flutter アプリ開発入門	¥55,000	2日間	8月 21-22日	9:30~17:30	P.12
Power Platform による ローコード AI アプリ開発入門	¥55,000	2日間	11月 20-21日	9:30~17:30	P.13
NEW OpenAI API 応用プログラミング 演習	¥55,000	2日間	12月 5-6日	9:30~17:30	P.13

研修名	受講料 (税込)	日数	開催日	時間	掲載 ページ
3. ヒューマンスキル					
IT 技術者のためのコミュニケーション	¥55,000	2日間	7月11-12日	9:30~17:00	P.14
IT 技術者のためのドキュメンテーション	¥55,000	2日間	7月24-25日	9:30~17:00	P.14
IT 技術者のためのネゴシエーション	¥82,500	3日間	9月4-6日	9:30~17:30 (最終日は17:00まで)	P.15
IT 技術者のための リーダーシップとチームビルディング	¥82,500	3日間	10月16-18日	9:30~17:30 (最終日は17:00まで)	P.15
失敗しないプロジェクトのための 段取り力 	¥82,500	3日間	9月11-13日	9:30~17:30 (最終日は17:00まで)	P.16
失敗しないプロジェクトのための リスク先読み力 	¥82,500	3日間	10月23-25日	9:30~17:30 (最終日は17:00まで)	P.16
顧客の心をつかむ IT ソリューション提案の実践	¥55,000	2日間	10月31日-11月1日	9:30~17:00	P.17
チームリーダーのための人に教える技術	¥55,000	2日間	11月7-8日	9:30~17:00	P.17

4. プロジェクトマネジメント

PMP®試験準備講座	¥165,000	5日間	8月26-27日 9月24-26日	9:30~17:30	P.18
 ムダ(ロスコスト)削減講座 【トラブル事例よりプロジェクト マネジメントを振り返る】 	¥38,500	1日間	9月17日	9:30~17:30	P.18
 プロジェクト・マネージャーのための 要求マネジメント力強化講座 	¥38,500	1日間	9月18日	9:30~17:30	P.19
 プロジェクト・マネージャーのための プロジェクト交渉力強化講座 	¥38,500	1日間	11月13日	9:30~17:30	P.19
プロジェクトマネジメント実践 (プロジェクトシミュレーション)講座 	¥71,500	2日間	11月14-15日	9:30~17:30	P.20

※PMI はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc)の登録商標です。また、PMBOK 及び PMP は PMI® の登録商標です。

※プロジェクトマネジメント知識体系ガイドを以下「PMBOK®ガイド」といいます。



今年度新設の講座です。



PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

研修名	受講料 (税込)	日数	開催日	時間	掲載 ページ
6. 一般ユーザ					
Word2019 基礎	¥24,200	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.21
Word2019 応用	¥17,600	1日間	ご相談ください	9:30~17:30	P.21
Excel2019 基礎	¥24,200	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.21
Excel2019 応用	¥26,400	2日間	ご相談ください	9:30~16:00	P.21
Excel2019 ビジネス活用<<関数編>>	¥26,400	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.22
Excel2019 マクロ/VBA 入門	¥40,700	2日間	ご相談ください	9:30~17:00	P.22
PowerPoint2019 基礎	¥13,200	1日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.22
Word & Excel & Power Point 速習	¥28,600	3日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.22
Access2019 基礎	¥28,600	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.23
Access2019 応用	¥33,000	2日間	ご相談ください	9:30~16:30	P.23

◆Microsoft Office のバージョンについて◆

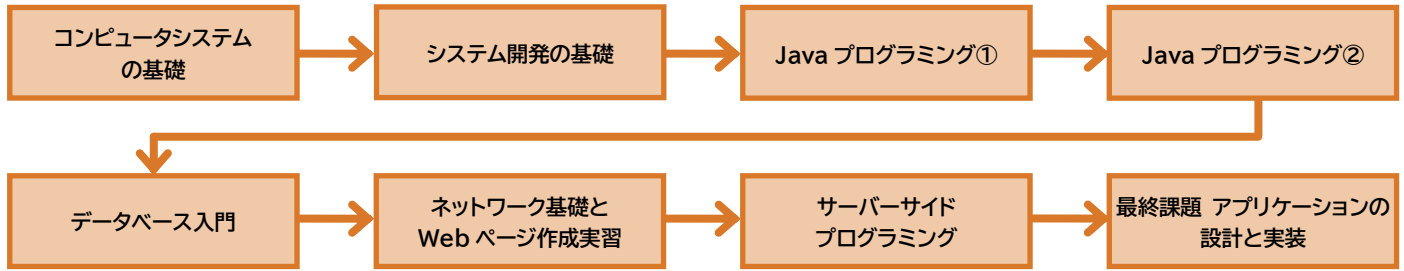
Microsoft Office の研修は **Office2019** のバージョンで実施いたします。
Office2021、2016 等、他のバージョンでの研修をご希望の場合はご相談ください。

◆助成金の活用について◆

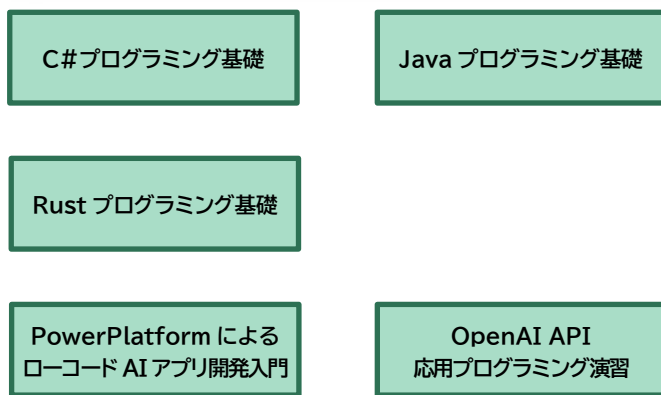
助成金を利用して研修受講をを検討されている方はお気軽にご相談ください。

研修コースマップ

新入社員や IT 技術者としての基礎を学びたい方



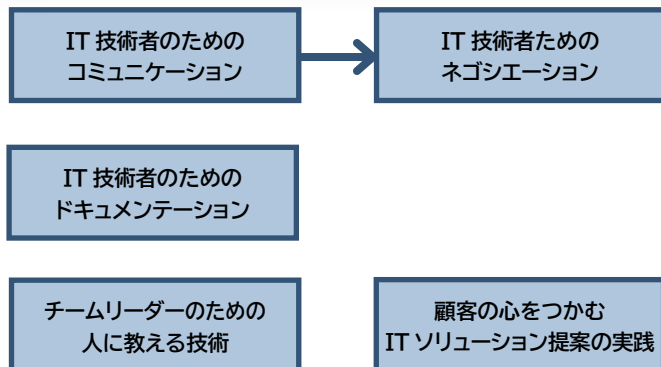
プログラミングを学びたい方



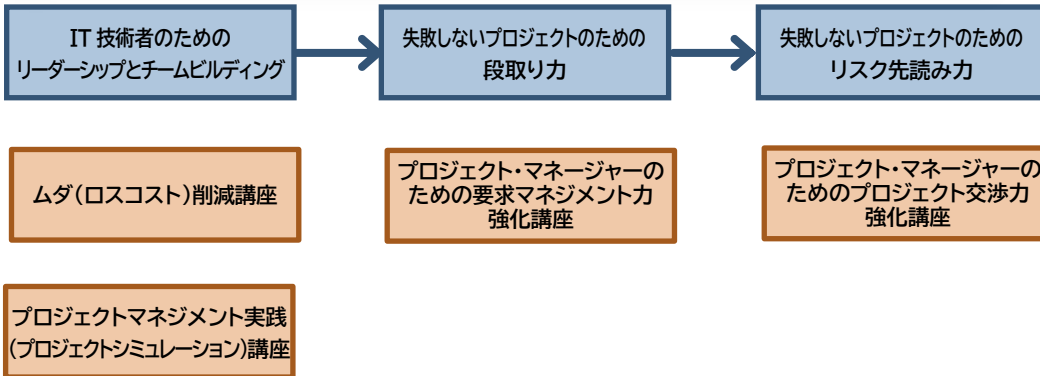
Web 及び Web アプリ開発に関する技術を学びたい方



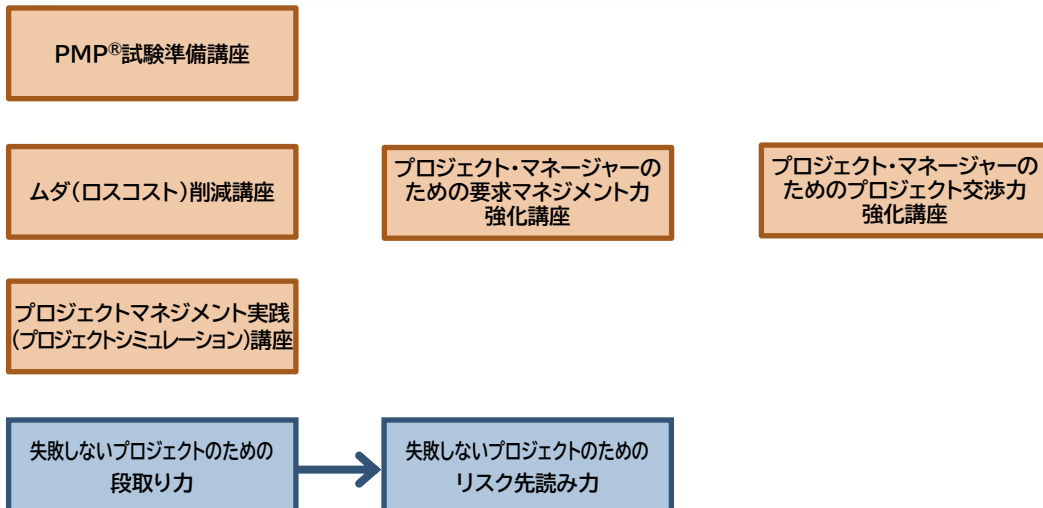
IT 技術者に必要なヒューマンスキル・ビジネススキル向上を目指す方



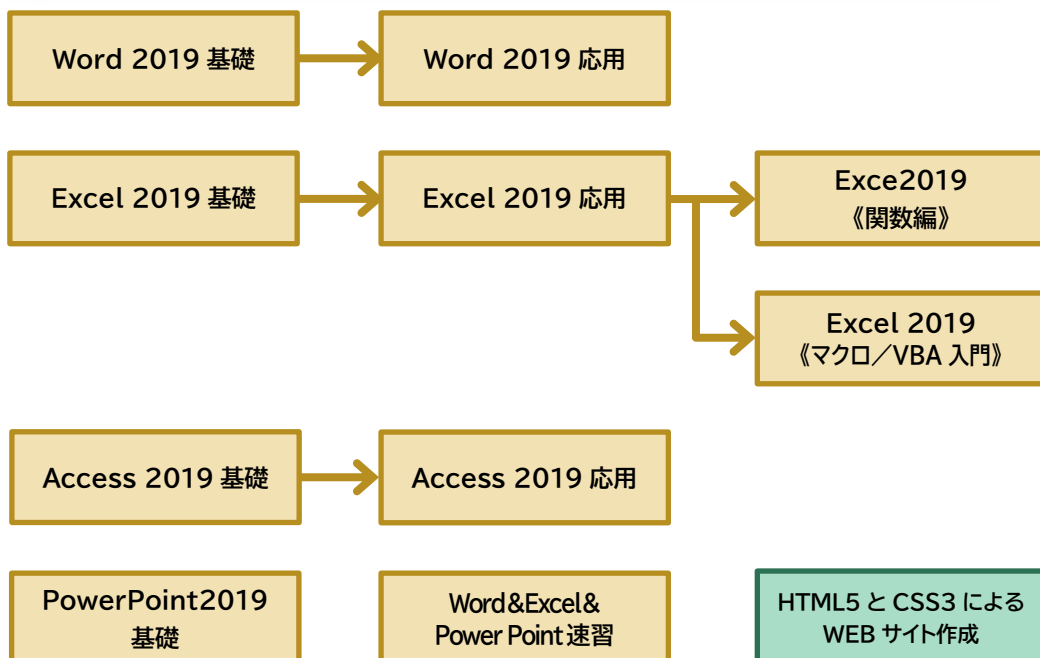
プロジェクトリーダー・マネージャーに必要なスキル向上を目指す方



PMP®資格取得を目指す・PMP®資格維持を図る方



ユーザー向け(Office アプリケーションやホームページ作成など)



1.新入社員研修

3日間		コンピュータシステムの基礎 ～コンピュータの仕組みを理解しよう～	
<p>身近にあふれるコンピュータの仕組みを丁寧に解説します。人類の英知の結晶としてのコンピュータとそれを支えるコンピュータ科学の一端を知ることができます。内容とレベルは基本情報処理技術者試験のテクノロジ系の一部に準じます。ネットワークの知識にも触れ、この後、web ページやプログラミング言語、データベースを学ぶための前提となる知識を習得します。</p>			
達成目標	1. コンピュータ内で行われるデータ表現と演算を他者に説明できる 2. コンピュータシステムの情報処理の基本的な仕組みを説明できる 3. 目的に応じて基本的なシステム構成について説明することができる		
内 容	1. はじめに、コンピュータシステムとは何か？ (1) そもそもシステムとは何か？ (2) コンピュータシステムとは？ (3) システムエンジニアのお仕事 2. データ表現を知る (1) 2進数の知識 (2) ビット演算 3. ハードウェアの基本 (1) ハードウェアとは (2) CPU (3) メモリ (4) ストレージデバイス	(5) 入力デバイス (6) 出力デバイス 4. オペレーティングシステム (1) オペレーティングシステムとは (2) オペレーティングシステムの概要 (3) プロセスとスレッド (4) ファイルシステム 5. ソフトウェアの仕組み (1) ソフトウェアとは (2) ソフトウェアの基本 (3) ソフトウェアのライフサイクル (4) ソフトウェアライセンスの基本 (5) ソフトウェアトラブルシューティング	6. ネットワークにも強くなる (1) コンピュータネットワークとは (2) ネットワークの基本 (3) 代表的なネットワークプロトコル (4) ネットワークのトラブルシューティング (5) クラウドコンピューティングとネットワーク ◎理解度チェックテスト
日 時	4月5日(金)・8日(月)～9日(火)		9:00～17:30
受講料	¥56,100 (消費税込・教材費込)		
定 員	15名		
前提知識	パソコンを触ったことがあること		

3日間		システム開発の基礎 ～システムってなに？どうやって作るの？～	
<p>今後、システム開発を学ぶ新人エンジニアの方にシステム開発の全体像を理解いただきます。内容とレベルは基本情報処理技術者試験のシステム開発技術に相当しますが、この後のプログラミング実習を見据えてより実践的な内容とします。座学と簡単な演習、理解度チェックテストにより知識の定着を図ります。</p>			
達成目標	1. システム開発の流れについて説明できる 2. オブジェクト指向について説明できる 3. 簡単なアルゴリズムを自分で組むことができる		
内 容	◎システム開発基礎を学ぶ 1. システム開発とは何か？ (1) システム開発の定義と重要性 (2) システム開発の種類とそれぞれの特性 2. SDLC を知る (1) ソフトウェア開発ライフサイクルの概要 (2) 要件定義 (3) 設計 (4) コーディングとテスト (5) レビュー (6) メンテナンスとシステムの改善 3. UML を理解する (1) 基本設計	(2) 詳細設計 (3) UML の基本 (4) UML の基本要素 4. プログラミングの基本を身につける (1) プログラミング言語の選択 (2) 基本的なプログラミング概念 (3) プログラミングパラダイム (4) オブジェクト指向プログラミング 5. アルゴリズムを理解する (1) アルゴリズムの基本概念的解説 (2) 探索アルゴリズム (3) 計算量理論 (4) ソートアルゴリズム	6. テスト技法を知る (1) テスト技法とは (2) 単体テスト (3) 結合テスト (4) システムテスト (5) その他のテスト (6) ホワイトボックスとブラックボックステスト (7) テスト計画とテストケースの作成 7. 情報セキュリティ技術を学ぶ (1) 情報セキュリティとは？ (2) 情報セキュリティ対策の基本 ◎理解度チェックテスト
日 時	4月10日(水)～12日(金)		9:00～17:30
受講料	¥56,100 (消費税込・教材費込)		
定 員	15名		
前提知識	コンピュータシステムの基礎(3日間)に参加していること。または、同等の知識があること。		

5日間

Javaプログラミング① 基礎と実践

～ほとんどのプログラミング言語に共通する基本の基本～

プログラミング初学者を対象にそもそもプログラムとは何かというところから基本制御構造(順次・選択・繰り返し)を使って簡単なプログラムを組めるまでを座学と演習の繰り返しにより学びます。また、オブジェクト指向の入り口、大まかな考え方のところまでを学習します。

達成目標	1. 50～100 ステップ程度のプログラムを自力で作成できる 2. 基本制御構造を適切に使える 3. Oracle Certified Java Programmer, Bronze 資格の前半部分をカバーする		
内 容	◎Java を学ぶ 0.統合開発環境について 1.Java 言語を初めて学ぶ新人社員の皆さんへ (1) Java 言語の特徴 (2) Java プログラムの実行 (3) Java プログラムの構成 (4) オブジェクト指向のメリットとデメリット (5) クラスのメンバ(フィールドとメソッド) (6) エラーを恐れない (7) 変数とはなにか、なぜ使うのか？ (8) プログラムはメモリにロード後実行される (9) システムに必要な IPO (10) コメントの入れ方 (11) エラーへの対処 (12) 標準出力 2.変数でデータを再利用する (1) 変数とは (2) 変数の宣言	(3) Java で使用できるプリミティブ型 (4) なぜ、変数を使うのか？ (5) 定数を使うとき (6) char 型は整数であるということ (7) クラスはパッケージに入れて管理する (8) 別パッケージのクラスを呼び出す 3. 演算子でプログラムに計算させる (1) 算術演算子 (2) 変数を含む式 (3) 変数の型と代入の制限 (4) キャスト演算 (5) ArithmeticException (6) 文字列の結合に使用する「+」 4.条件分岐で場合に応じた処理をする (1) if 文 (2) 関係演算子 (3) if else 文 (4) switch 文 (5) 三項演算子 (6) 論理演算子 (7) 演算子の優先順位	5.繰り返しで単純作業をこなす (1) while 文 (2) for 文 (3) ユーザー入力を受け付ける (4) ループを中断する break 文 (5) ループを1回スキップする continue 文 (6) ループのネスト (7) do while 文 6.配列を使い大量データを便利に扱う (1) 配列の使い方 (2) ArrayIndexOutOfBoundsException (3) 参照とハッシュ値 (4) 配列の要素を一度に表示する (5) 拡張 for 文 (6) 2次元配列 (7) 配列とオブジェクト指向 ◎Java プログラミング① 卒業課題
日 時	4月15日(月)～19日(金) 9:00～17:30		
受講料	¥93,500 (消費税込・教材費込)		
定 員	15名		
前提知識	以下の研修に参加していること。または、同等の知識があること。 ・コンピュータシステムの基礎(3日間) ・システム開発の基礎(3日間)		

◆新入社員研修記載事項に関して◆

受講者の習熟度に合わせて内容や時間配分を一部変更する場合があります。

カリキュラム中に表記がなくともディスカッションや演習、小テストを随時行い、可能な限り個々人に合わせた柔軟な進め方をします。

8 日間

Java プログラミング② オブジェクト指向

～Java のことは Java に訊け～

プログラミング初学者が Java を使ってオブジェクト指向とは何かを理解する研修です。Java のソースコードや API の解説に時間をかけますので、進捗はゆっくりめですが、その分、基本をしっかりと理解できます。カプセル化や継承、ポリモーフィズムなどの流行り廃りの少ない考え方をお伝えします。

達成目標	1. 複数クラスからなる Java プログラムの設計と実装が自力でできる 2. オブジェクト指向の3大要素の意義を人に説明できる 3. Oracle Certified Java Programmer, Bronze 資格の後半の部分をカバーする		
内 容	◎オブジェクト指向を学ぶ 1.文字列を扱う (1) 文字と文字列の違い (2) String クラス (3) equals メソッド (4) イミュータブル (5) String クラスの便利なメソッド (6) static メソッド (7) null は何もないことを表現する 2.static メソッドを定義して処理を再利用する (1) メソッドとは (2) 引数のあるメソッド (3) 戻り値のあるメソッド (4) メソッドのオーバーロード (5) メソッドのメリット (6) メソッドの再帰処理 (7) メソッドチェーン (8) static キーワードの意味 3.インスタンスでデータと処理を再利用 (1) オブジェクト指向とは何だったか？ (2) フィールドを持ったクラスの定義 (3) メソッドを持ったクラスの定義 (4) インスタンスの生成 (5) 参照型とプリミティブ型 (6) 参照型の配列 (7) NullPointerException (8) 参照渡しと値渡し (9) メソッドの戻り値に参照を使う	(10) コンストラクタでインスタンスの初期化 (11) コンストラクタのオーバーロード (12) インスタンス変数と static 変数 (13) インスタンスメソッドと static メソッド 4.継承を使ってクラスをグループ化する (1) すべてのクラスのスーパークラス Object (2) 継承(拡張)とは (3) 継承関係で複数のクラスを仲間にする (4) メソッドのオーバーライド(String) (5) メソッドのオーバーライド(自作) (6) オリジナルな equals メソッドの実装 (7) ポリモーフィズムで保守性が高まる (8) toString メソッドで出力 (9) 親クラスの上に子クラスは作られる (10) 継承よりも委譲を選ぶ (11) クラスの責務を考えて設計をする (12) ClassCastException (13) 多重継承の禁止 5.カプセル化と情報隠蔽 (1) カプセル化の意義 (2) データ隠蔽の意義 (3) アクセス修飾子 (4) クラスとインタフェースのアクセス修飾子 (5) final 修飾子とは 6.インタフェース (1) Comparable インタフェース (2) インタフェースのメソッドをオーバーライド (3) クラスを仲間に見よう (4) 複数インタフェースの実装	7.例外処理 (1) try～catch 文 (2) finally 句の意義 (3) 複数例外のキャッチ (4) 例外クラスの体系 (5) throws キーワード (6) 例外を呼び出し元に投げて処理を任せる 8.ArrayList で配列を便利に使いこなす (1) ArrayList (2) ジェネリクス (3) ArrayList ではラッパークラスを使う (4) List インタフェース (5) コレクションフレームワーク (6) ConcurrentModificationException 9.日付/時刻と列挙型 (1) 現在日時の取得 (2) 特定の日付の扱い (3) 日付の書式を指定する (4) 時刻の扱い 問題集.JavaSE の問題集 ◎理解度チェックテスト ◎Java プログラミング② 卒業課題
日 時	4月23日(火)～26日(金)・30日(月)・5月1日(火)～2日(水)・7日(月)	9:00～17:30	
受講料	¥149,600 (消費税込・教材費込)		
定 員	15名		
前提知識	以下の研修に参加していること。または、同等の知識があること。 ・コンピュータシステムの基礎(3日間) ・システム開発の基礎(3日間) ・Java プログラミング① 基礎と実践(5日間)		

4 日間		データベース入門 ～なぜ、バイト先ではデータベースを使っていたのか？～	
データベース初学者を対象にそもそもデータベースとは何か？ファイルとどう違うのか？というところから SQL を使い既存のテーブル操作ができるように座学と演習の繰り返しにより学びます。また、データベースのテーブルはどのような考えのもと作られているのかを学びます。使用予定データベースは MySQL です。			
達成目標	1. データベースの今日的意義を他者に説明できる 2. SQL の DML 文を自力で組み立てて発行できる 3. テーブル設計を他者と協力して完遂できる		
内 容	◎データベースを学ぶ 0. ツールで学習環境を整える 1. データベースとは (1) データベースの基本 (2) データベースの利点 (3) 関係データベース (4) データベースの設計 2. MySQL Workbench (1) Workbench からテーブルまでの道のり (2) よく使うアイコン 3. テーブルにデータを格納、編集する (1) 完成イメージのテーブル (2) スキーマの作成	(3) テーブルの作成 (4) テーブルに 1 件のレコードを挿入する (5) 行の更新 (6) 行の削除 (7) 複数レコードの一括挿入 (8) テーブルの削除と変更 (9) 便利なコンテキストメニュー 4. ER 図から楽にテーブルを作成する (1) ER 図からテーブルを作成する (2) ER 図の主な構成要素 5. 検索を使いデータを分析する (1) 検索の基本 (2) 条件付き検索	6. 検索結果のソートやグループ化 (1) 検索結果のソート (2) グループ化 (3) 集約関数 7. 複数テーブルにまたがったデータ (1) テーブル結合の必要性 (2) 内部結合 (3) 左外部結合 ◎理解度チェックテスト
日 時	5月8日(水)～10日(金)・13日(月) 9:00～17:30		
受講料	¥74,800 (消費税込・教材費込)		
定 員	15 名		
前提知識	以下の4講座に参加していること。または、同等の知識があること。 ・コンピュータシステムの基礎(3日間) ・システム開発の基礎(3日間) ・Java プログラミング① 基礎と実践(5日間) ・Java プログラミング② オブジェクト指向(8日間)		

3 日間		ネットワーク基礎と Web ページ作成実習 ～チームでオリジナル Web サイトをつくろう～	
ネットワークや Web サイトの利用経験はあっても IP アドレスの設定や HTML の記述経験のない初学者を対象にネットワークの仕組の基本から Web サイトの構築までを実践的に学びます。HTML に関しては Web デザイナーのような広く深い知識は望めませんが、Web アプリケーション用の画面を自力で作成できるレベルを目指します。			
達成目標	1. 基本情報処理技術者試験のネットワークの範囲を理解する 2. ネットワーク通信で使われるセキュリティ技術について仕組みを理解する 3. 静的 Web サイトを自力で作成できる		
内 容	◎ネットワークと HTML/CSS を学ぶ 0. ネットワークコマンド & ツール講座 1. HTML の学び方 (1) HTML の学び方 (2) リクエストとレスポンスを確認する 2. 文章の構造を表現するためのタグ (1) 見出しとリストを学ぶ理由 (2) 見出しを作成する (3) リストを作成する (4) 段落の p タグ (5) 改行の br タグ 3. スタイルを設定して表現力アップ (1) スタイルを学ぶ理由	(2) スタイルを設定する style タグ (3) セレクタとは (4) div (5) span 4. リンクを張って回遊性を高める (1) リンクを学ぶ理由 (2) リンクの種類 (3) URL への絶対パスのリンク (4) 別ファイルへのリンク (5) ページ内リンク 5. 画像とテーブルで表現力アップ (1) 画像とテーブルを学ぶ理由 (2) 画像の貼り方 (3) 背景画像の設定 (4) テーブルの table タグ	6. フォーム部品 (1) フォーム部品を学ぶ理由 (2) フォームを扱う (3) テキストフィールド(一行テキスト) (4) テキストエリア(複数行テキスト) (5) 送信ボタン (6) 隠しフィールドを送る 7. Chrome DevTools ◎理解度チェックテスト
日 時	5月14日(火)～16日(木) 9:00～17:30		
受講料	¥56,100 (消費税込・教材費込)		
定 員	15 名		
前提知識	以下の2講座に参加していること。または、同等の知識があること。 ・コンピュータシステムの基礎(3日間) ・システム開発の基礎(3日間)		

6 日間

サーバーサイドプログラミング

～ あの名サイトも基本は同じ仕組みで動いている ～

Web アプリケーション初学者を対象に、静的 Web と動的 Web の違いといった基本的なところから、JDBC を使ったアプリケーションの入り口までを学びます。実務で使うことの多い各種フレームワークがどのような基礎を元に作られているかが理解できるので今後の応用力の醸成が期待できます。

達成目標	1. Web アプリケーションとは何かを他者に説明できる 2. JSP、サーブレット、JavaBeans、MySQL を使い簡単な MVC モデルの実装ができる 3. Web アプリケーションのセキュリティ上の脅威と対策を知っている		
内 容	◎サーバーサイドプログラミングを学ぶ 1. Web アプリケーションとは (1) Web アプリケーションを学ぶ理由 (2) Web アプリケーションとは？ (3) 本 Web アプリケーション研修の方針 (4) Web アプリケーションの学び方 (5) 本記事の注意点 2. ゴールは MVC モデルを理解すること (1) MVC モデルとは？ (2) なぜ MVC モデルなのか？ (3) MVC モデルの簡単な例 3. Servlet から JSP にデータを渡す (1) Servlet とは？ 4. フォーム送信を Servlet で受け取る (1) フォームの復習 (2) Servlet の復習	(3) http リクエストの読み方 (4) getParameter メソッド (5) 日本語文字列を表示する (6) エラー入力を適切に処理する (7) リンク送信データを受け取る (8) ボタン送信データを受け取る 5. セッション属性 (1) ログイン処理とは (2) 不完全なログイン処理の実装 (3) フォワードとリダイレクト (4) get メソッドと post メソッドの違い (5) セッション ID の仕組み (6) メニューをインクルードする (7) ログアウト処理の実装 6. JavaBeans でデータを再利用する (1) Servlet 問題集	7. EL と JSTL で豊かな表現を (1) EL の基本 (2) EL の演算子 (3) EL と JavaBeans (4) EL を記述できる場所 (5) JSTL とは何か？ (6) JSTL の使い方 (7) JSTL の i18n タグ 8. Java からデータベースを活用する (1) データベースの必要性 (2) JDBC とは何か？ (3) JavaSE で JDBC を扱う (4) 接続・切断の処理を親クラスに (5) Web アプリと DB を連携させる ◎理解度チェックテスト (1) Servlet 問題集
日 時	5月17日(金)・20日(月)～24日(金) 9:00～17:30		
受講料	¥112,200 (消費税込・教材費込)		
前提知識	以下の6講座に参加していること。または、同等の知識があること。 ・コンピュータシステムの基礎(3日間) ・システム開発の基礎(3日間) ・Java プログラミング① 基礎と実践(5日間) ・Java プログラミング② オブジェクト指向(8日間) ・データベース入門(4日間) ・ネットワーク基礎と Web ページ作成実習(3日間)		

8 日間

最終課題 アプリケーションの設計と実装

～ お仕事とは顧客満足を追求する終わりなきゲーム ～

システム開発の未経験者を対象に設計→製造→テスト→納品の一連のシステム開発工程を経験いただく体験講座です。途中で仕様変更や機能拡張のイベントがあり、自分たちの設計が良かったのかそうでなかったのかを自らが振り返ることのできる内容です。チームで課題に挑戦するため、チームワークやコミュニケーションといったことも副次的に学ぶことができます。

達成目標	1. システム開発の下流工程を一通り経験している 2. 顧客やチームメンバーなどの他者との協力の必要性を理解する 3. システム開発をやり切ることの苦しさや嬉しさを体感する		
内 容	◎システム開発工程を経験する ・講座の狙いとゴール 1. 復習 (1) Java プログラミング①の振り返り (2) Java プログラミング②の振り返り (3) システム開発基礎の振り返り 2. 基本設計と UML の詳細 (1) 要件定義書 (2) ユースケース図	(3) クラス図 (4) シーケンス図 (5) ER 図 (6) 画面詳細図 (7) 画面遷移図 3. チームでシステム開発演習 ※毎日朝会 (1) 顧客からの依頼(要求分析) (2) 外部設計 (3) 内部設計 (4) 実装	(5) コードレビュー (6) 仕様変更への対応 (7) 機能拡張への対応 (8) テスト(要点を踏まえた動作チェック) (9) 納品 4. 開発演習の振り返り (1) 達成できたこと/今後の課題 (2) 今後の目標 ◎総評と今後の指針
日 時	5月27日(月)～31日(金)・6月3日(月)～5日(水) 9:00～17:30		
受講料	¥149,600 (消費税込・教材費込)		
前提知識	以下の4講座に参加していること。または、同等の知識があること。 ・コンピュータシステムの基礎(3日間) ・システム開発の基礎(3日間) ・Java プログラミング① 基礎と実践(5日間) ・Java プログラミング② オブジェクト指向(8日間)		

2. 一般情報処理技術

2日間

C#プログラミング基礎

統合開発環境 Visual Studio は、Microsoft 社が提供する統合開発環境であり、効率良く Windows アプリを開発することができます。

また、その Visual Studio 上の標準言語とも言える C# は、C を派生させたオブジェクト指向言語の一つであり、人気の高いプログラミング言語の一つです。

本研修では、無料で導入可能な Visual Studio Community エディションを用いて様々な簡易アプリを開発し、C# の文法及びオブジェクト指向プログラミングの基本について学習します。

- | | |
|-----|--|
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none">● Visual Studio Community の基本操作● C# の基本文法● C# におけるオブジェクト指向プログラミング● 簡単なアプリケーションを作る
(簡易計算アプリ、タイマーアプリ、付箋メモアプリ、占いアプリの作成)● データの処理方法
(簡易家計簿アプリの作成) |
|-----|--|

日 時	6月26日(水)~27日(木) 9:30~17:30
-----	----------------------------

受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)
-----	---------------------

定 員	15名
-----	-----

対 象 者	プログラミング経験をお持ちの方
-------	-----------------

2日間

Java プログラミング基礎

Java 言語でプログラムを書くために必要な基本的な文法とオブジェクト指向の考え方からエラー処理まで、プログラム演習問題に取り組みながら習得していきます。

オブジェクト指向とは何か、オブジェクト指向プログラミングの三大要素であるカプセル化、継承、ポリモーフィズムによって変更や拡張がどのように容易になるのか、抽象クラスとインターフェースはどのように使えばよいのかについて学んでいきます。

- | | | |
|-----|--|--|
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none">● Java 言語のプログラム作成の手順● データ型と変数● クラスライブラリの使い方● 条件分岐、繰り返し● オブジェクト指向の考え方 | <ul style="list-style-type: none">● クラスとメソッド● カプセル化● 継承とポリモーフィズム● 抽象クラスとインターフェース● 例外処理 |
|-----|--|--|

日 時	7月29日(月)~30日(火) 9:30~17:30
-----	----------------------------

受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)
-----	---------------------

定 員	15名
-----	-----

対 象 者	他言語のプログラミング経験をお持ちの方
-------	---------------------

NEW
2日間

Rust プログラミング基礎

Rust は、高いパフォーマンスと安全性を兼ね備えたシステムプログラミング言語であり、Web アプリケーション、ゲーム開発、組み込みシステムなど幅広い分野で利用されています。Linux や Windows11 など主要 OS の最新版のカーネルにおいても Rust を活用する動きが活発です。

この研修では、大規模言語モデルのチャットボットを活用しながら、Rust の基本文法から所有権システム、並行処理などの特徴的な文法を中心にプログラミングの演習を実施します。

- | | |
|-----|---|
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none">● Rust 言語の概要と特徴● 開発環境のセットアップ● 基本的な文法(変数、データ型、制御構造)● 関数とクロージャ● 所有権システムと借用● ジェネリクスとトレイト● 並行処理と非同期処理 |
|-----|---|

日 時	7月18日(木)~19日(金) 9:30~17:30
-----	----------------------------

受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)
-----	---------------------

定 員	15名
-----	-----

対 象 者	プログラミング経験をお持ちの方
-------	-----------------

2日間

HTML5 と CSS3 による Web サイト作成

マルチブラウザ、マルチプラットフォームに対応するデジタルコンテンツ作成に欠かせない HTML5 と CSS3 の基礎を学びます。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● HTML5 の基礎知識 ● CSS3 の基礎知識 ● Web サイトの構築 ● トップページ作成 ● サブページ作成 ● リンクの設定 ● Web ページの動作検証 ● 表を挿入した Web ページ作成 ● サイドメニューのある Web ページ作成 ● 動画やマップを挿入した Web ページ作成 ● フォームを利用した Web ページ作成
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~17:00
受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)
定 員	15名
対 象 者	特にありません

2日間

Flutter アプリ開発入門

スマートフォンアプリの開発環境として、同一コードを共有して、Android アプリ、iOS アプリを開発できるクロスプラットフォームアプリ開発フレームワークが数多く登場しています。

その中でも現在最も注目を浴びているフレームワークが Google の Flutter であり、その特徴として、迅速開発、表現力豊かで柔軟な UI、高速動作を挙げることができます。

Flutter は、当初モバイルアプリに限定した UI ツールキットでしたが、現在では Web アプリやデスクトップアプリのサポートも充実しており、共通のコードを用いて多様な OS 上で動作するアプリを開発できます。

この研修では、演習・実習を通して、開発言語である Dart の基本文法と Flutter によるアプリ開発の基本について理解を深めます。

また、SQLite を利用したメモ帳アプリの構築を通して、簡易なデータベースアプリの開発方法を学びます。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● Flutter の概要 ● 開発環境の構築 (VS Code, Android Studio, Flutter SDK) ● Dart の基本文法 ● ウィジェットの作り方の基本 ● イベント処理 ● ナビゲーション ● データと状態管理 ● SQLite を用いたメモ帳アプリの開発
日 時	8月21日(水)~22日(木) 9:30~17:30
受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)
定 員	15名
対 象 者	プログラミング経験及び Web 技術の基礎知識をお持ちの方

2日間

Power Platform によるローコード AI アプリ開発入門

Microsoft が提供する Power Platform は、クラウドベースのプラットフォームであり、Power Apps というローコードのアプリ開発環境、Power Automate というビジネスプロセスの自動化サービス等を提供しています。Power Platform を使用すれば、ローコード(少ないプログラミング言語のコード量)で、低コストでありながらも、業務用カスタムアプリの開発、ビジネスプロセスの自動化、データ分析を実現できます。

Power Platform には、画像認識や文字認識(OCR)などの AI モデルを管理する AI Builder 機能もあります。この機能を利用することで、Power Apps など開発するアプリに AI の機能を組み込むことが容易になります。また、OpenAI の ChatGPT のような高度な自然言語処理が可能な AI モデルも AI Builder 上で利用可能になる予定です。

この研修では、まず、Power Automate と Power Apps の基本について学びます。その上で、AI Builder を利用して、学習済みの AI モデルの使い方を学びます。例えば、Excel と連携するバーコードリーダーや名刺リーダーアプリなど簡易な AI アプリの開発に挑戦します。この研修を受講することで、AI の機能を活用するローコードアプリ開発の理解を深め、実際の業務改善に役立てるためのヒントを得ることが期待できます。

内 容	1. Power Platform の概要
	2. 開発・実行環境の構築
	3. Power Automate によるプロセス自動化の基本
	4. Power Apps によるアプリ開発の基本
	5. AI Builder の利用
	6. 自作 AI アプリの開発

日 時	11月20日(水)~21日(木) 9:30~17:30
-----	-----------------------------

受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)
-----	---------------------

定 員	15名
-----	-----

対象者	プログラミング経験をお持ちの方
-----	-----------------

2日間

OpenAI API 応用プログラミング演習

OpenAI API は、ChatGPT の大規模言語モデルである GPT-4 による自然言語処理を提供するだけでなく、画像生成 AI モデルの DALL-E3 による画像生成処理、音声認識 AI モデルの Whisper を用いた高性能な多言語音声認識、さらには自然な発話可能な音声合成の機能を提供しています。

OpenAI API は、これらの音声を含めた自然言語処理や、画像生成、画像認識などに関して世界最高峰の AI モデルを安価に利用できるため、幅広いサービスで活用されています。

この研修では、チャットボット等の簡易アプリの開発を通して、先進的な OpenAI API の使い方について学びます。

内 容	● OpenAI API の概要
	● GPT-4 等による自然言語処理
	・プロンプトエンジニアリング
	・システムプロンプトの活用方法
	・埋め込みベクトルと意味検索
	● GPT-4 with Vision による高度な画像認識
	● DALL-E 3 による画像生成処理
● Whisper による多言語音声認識	
● 音声合成処理	
● OpenAI API を活用する簡易アプリの開発	

日 時	12月5日(木)~6日(金) 9:30~17:30
-----	---------------------------

受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)
-----	---------------------

定 員	15名
-----	-----

対象者	プログラミング経験をお持ちの方
-----	-----------------

3. ヒューマンスキル

2日間		IT 技術者のためのコミュニケーション ～「論理と直感」で「伝わる」意思疎通の技法～	
IT 技術者に必要不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル等のスキルを理論と実践を通じて身につける研修です。各種チャレンジやプレゼンコンテスト、等により参加者の方々と交流でき、楽しく身につけることができます。講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。			
内 容	【1日目】 ◎コミュニケーションとは ・コミュニケーションとは人間関係の構築と意思疎通 ・なぜ、コミュニケーションが重要か？ ・論理性とコミュニケーション 1. 人間関係の構築 (1)人付き合いが上手な人は何が違う？ (2)お願いの仕方 7か条 (3)7つのクッション言葉 2. 誰でもできる、ロジカルシンキング (1)ロジカルの4ステップ (2)個人ワーク (3)G内発表とフィードバック 3. より強固なロジカルシンキング (1)Why so? So What? (2)MECE (3)ストーリー性 4. プレゼンテーション (1)なぜ、プレゼンが必要か？ (2)プレゼンテーションの3Cとは？ (3)論理的なプレゼン	【2日目】 5. プレゼンテーションの導入 (1)自己紹介でつかむ (2)〇値法でつかむ (3)クイズ法でつかむ 6. プレゼンテーションの本論 (1)説明型 (2)主張型 (3)提案型 7. 実践、プレゼンテーション企画 ・実際の仕事を題材にして、プレゼンテーションプランを練る ・ドキュメント作成 ・講師からの個別指導 ・リハーサルと相互フィードバック 8. プレゼンテーションの実践 ・個別発表 -VTRに収録- ・講師コメント ◎総まとめ ・自己成長のための指針	
日 時	7月11日(木)～12日(金) 9:30～17:00		
受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	・IT業界にお勤めで、業務上意思疎通の力を必要としている方 ※研修参加にあたり受講者は、「自社やお客様に提案したいこと」について前もって考えておくようにして下さい。研修当日書き出しいただく演習があります。		

2日間		IT 技術者のためのドキュメンテーション ～誤解なく伝えるためのドキュメンテーション研修～	
IT 技術者に必要不可欠な文書表現、ドキュメント作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。ドキュメンテーション実習を個人ワークのみならずグループワークで実施することにより、参加者の方々と交流しながら、楽しく身につけることができます。講師、他者と様々なフィードバックにより自己のドキュメントの欠点が把握でき、改善の方策を自ら見いだしていける内容です。			
内 容	【1日目】 1. IT 業界のドキュメントの大切さ (1)システム開発におけるドキュメントの役割 ・仕様か欠陥か ・常識か非常識か ・プロジェクトの主な失敗 (2)IT 現場におけるドキュメントの種類 (3)分かりづらいドキュメントとは？ 2. ドキュメントの作成手順 (1)記載事項の抽出 ・情報の洗い出し ・情報どうしの関係の整理 (2)ドキュメントの構成 ・IT 技術文書の典型的な構成 ・論理性を高める構成 (3)ドキュメントの表現	【2日目】 3. ドキュメントの表現 (1)日本語に特有の問題と解決策 ・文字種をバランスさせる ・長文を避ける ・接続詞で文の関連を表現する ・結論前置きにする接続詞 ・主語述語の係り受けを明確化する ・繰り返しにより強調する ・文末を統一する ・敬語を正しく使い分ける ・言葉を正しく使い分ける(の、より、から、で) ・同音異義語 など (2)文章のポイント(議事録、報告書、メールなど) 4. ドキュメント作成 ・個人ワーク、ペアレビュー、講師フィードバック ◎総まとめ ・自己成長のための指針	
日 時	7月24日(水)～25日(木) 9:30～17:00		
受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	入社3年目以内程度の若手 IT 技術者 ※本講座では、以下のような報告書等の文書作成の演習を行うため、事前に文章化するテーマを1つ考えておいてください。 【テーマの例】 ・企画書 (例、スマホアプリの企画) ・報告書 (例、セキュリティ対策実施状況報告) ・提案書 (例、タブレット端末導入のご提案)		

3日間

IT 技術者のためのネゴシエーション

～社内・社外交渉を Win-Win にするために～

業務で経験する実際の交渉事例(クレーム対応、トラブル対応、新たな受注チャンスを見つけ、提案や営業活動につなぐなど)を元にネゴシエーションスキルを理論と実践により身につけます。
 実際の事例を使ったネゴシエーションゲームやロールプレイにより他の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。
 講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のネゴシエーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。

内 容	【1日目】 ◎ネゴシエーションとは ・IT 業界とネゴシエーション ・IT スキル標準におけるネゴシエーションの位置づけ 1. ネゴシエーションにおける 3 類型 (1)セルフチェックテスト (2)交渉ゲームによる確認 (3)交渉を好きになるには？ 2. ネゴシエーションの基本 (1)ネゴシエーションで最も重要なこと (2)ネゴシエーションの 5 プロセス (3)論理と心理の活用 (4)逆提案と妥協のスキル 3. 交渉を問題解決に変えるには？ ・ロールプレイ 4. パイをふくらませる交渉とは？ ・個人・グループワーク・発表 ・解説・振り返り	【2日目】 5. 事例研究Ⅰ 1対1のケース ～仕様変更、クレームの対処等 ユーザの立場からのロールプレイ～ ・個人ワーク ・グループワーク ・ロールプレイ(3～4 回繰り返し) ・解説・振り返り 6. 事例研究Ⅱ 1対1のケース ～仕様変更、クレームの対処等 ベンダーの立場からのロールプレイ～ ・個人ワーク ・グループワーク ・ロールプレイ(3～4 回繰り返し) ・解説・振り返り	【3日目】 7. 事例研究Ⅲ 多対多のケース ～人員要求、退職引き留めなど 対社内事例～ ・個人ワーク ・グループワーク ・ロールプレイ(3～4 回繰り返し) ・解説・振り返り 8. 応酬話法 (1)承諾に関する心理 (2)応酬話法集の作成 ・個人ワーク ・グループワーク ・発表 ・過去事例の紹介 ◎総まとめ ・自己成長のための指針 ～自己の強みを生かした交渉のあり方～
日 時	9月4日(水)～6日(金) 9:30～17:30(最終日は17:00まで)		
受 講 料	¥82,500 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	IT業界にお勤めで、業務上交渉力・提案力を必要としている方、今後必要とされる方 ※研修参加にあたり受講者は、「過去にお仕事で経験した最も大変だった交渉経験」について前もって考えておくようにして下さい。研修当日書き出してい たく演習があります。		
前提知識	「IT技術者のためのコミュニケーション」を受講していることが望ましい		

3日間

IT 技術者のためのリーダーシップとチームビルディング

～部下育成、動機付け、方針提示について学ぶ～

IT 人材に必要なチームビルディングのスキル(すなわち、褒める、叱る、からモチベーション・マネジメント、アンガーマネジメント、リーダーシップとフォローアップシップ、報・連・相まで)を理論と実体験を元に学びます。
 自分自身の振り返りはもちろんのこと、他者や講師からのフィードバックにより、自分の現在位置が分かり、さらなる成長のための自分自身のテーマが分かります。

内 容	【1日目】 ◎ジョハリの窓と自己開示 ・IT スキル標準におけるリーダーシップの位置づけ 1. リーダーシップとは (1)3つのキーワードで理解するリーダーシップ (2)ビジョンの提示 (3)人々の力を引き出す (4)変革の具現化 2. 部下・後輩育成のためのコーチング (1)6つの質問の使い分け (2)コーチングの4つのコツ (3)コーチングとティーチングの使い分け (4)より信頼関係を深める心がけ 3. コーチングロールプレイ 1 回目 (1)目標の明確化とは？ (2)問題を認識するには？ (3)創造的な解決策の創出には？ (4)アクションプランの与え方 4. 自己のリーダーシップスタイルを知る (1)リーダーシップ、マネジメント発揮度判定演習 5. 話し合いにおける影響力の発揮 (1)会議とは (2)ファシリテーションとは	【2日目】 6. リーダーシップとマネジメントの違い (1)自己のリーダーシップ、マネジメント 発揮度判定演習 7. チームビルディングとは (1)チームの成長の理論と動機づけ 8. 褒める (1)あなたはなぜ褒めないのか？ (2)良い褒め方 8 箇条+α (3)ホメホメゲーム 9. 叱る (1)「叱る」と「怒る」はどう違う？ (2)怒られすぎると人は… (3)アンガーマネジメント (4)叱り方 NG7 箇条 (5)良い叱り方 3 ステップ (6)謝り方	【3日目】 10. 総合演習 ・チーム形成ゲーム ・受講者からのフィードバック (リーダーシップとフォローアップシップ、コミュニケーション、チームの発展段階における各人の役割について観察を元にフィードバックし合います。) ・講師コメント 11. ビジョンの策定 (1)具体的なビジョンとは (2)SWOT 分析とは (3)ビジョン策定演習 12. 変革の具現化 (1)具体的なアクションを起こす 13. コーチングロールプレイ 2 回目 (1)作成した具体的な行動により目標設定 (2)目標の明確化とは？ (3)問題を認識するには？ (4)創造的な解決策の創出には？ (5)アクションプランの与え方 ◎総まとめ ・自己成長のための指針 ～自己の強みを生かしたリーダーシップのあり方～
日 時	10月16日(水)～18日(金) 9:30～17:30(最終日は17:00まで)		
受 講 料	¥82,500 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	業務上、リーダーシップを必要としている方、今後必要とされる方		

3日間

失敗しないプロジェクトのための段取り力

～プロジェクト計画の立て方を学ぶ～

PDU

成功率『52.8%』といわれている日本の IT プロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいの？

本研修では、その答えの一つとして『段取り力』を取り上げます。

プロジェクトマネジメントのデファクトスタンダードである PMBOK®も参考にしつつ IT プロジェクト特有のテーマを重点的に解説することで、プロジェクト・マネージャーとしての基本を学びます。

同時に、研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。

内 容	【1日目】 ◎ノーミング・セッション 1. プロジェクトマネジメントとは？ 2. 日本人の得意な段取りについて 3. PMBOK®の解説 (1)「10の知識エリア」の実例 (2)PMBOK®の概要 (3)なぜ、プロジェクトは失敗するのか？ 4. プロジェクトの目的と目標 (1)プロジェクトの目的の確認 (2)プロジェクト目標の確認 (3)各プロジェクト発表 5. 段階的詳細化について (1)WBSとは (2)なぜ、WBS を作るのか？ (3)WBS作成演習 (4)他者に仕事を割り当てるときの極意 (5)メンバーの参画意欲を高めつつ 正確な期間・工数見積もりをする方法	【2日目】 6. ネットワーク図 (1)ネットワーク図とは (2)ネットワーク図の作成 (3)納期短縮法 (4)バッファの扱い方 (5)資源平準化 7. リスクマネジメント (1)2種類のリスク (2)リスクの察知能力を高める (3)どのリスクを対策すべきか？ (4)リスクを見込んでさらに強い計画を立てる ・全体発表と講師講評	【3日目】 8. ケース演習 (1)プロジェクト憲章作成 (2)WBS の作成 (3)ネットワーク図の作成 ・個人演習 ・グループ演習 ・グループ発表 ・全体発表と講師講評 9. 今回のプロジェクトの教訓 ・個人演習 ・グループ演習 ・グループ発表 ・全体発表と講師講評 10. 個人で今日からできる段取り力向上のための「5つの習慣」 ◎総まとめ
日 時	9月11日(水)～13日(金) 9:30～17:30(最終日は17:00まで)		
受講料	¥82,500 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	現在 IT プロジェクトにメンバー又はマネージャーとして携わっている方、今後予定されている方		
前提知識	IT プロジェクト参加経験 3年以上。 (※本研修では主として「立上げ」と「計画」プロセス群を扱います。「実行」～「監視・コントロール」プロセス群は「失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力」を受講下さい。)		

3日間

失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力

PDU

成功率『52.8%』といわれている日本の IT プロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいの？

本研修では、その答えの一つとして『リスク・マネジメント』を取り上げます。

実例に極めて近いケースを用い、カードやサイコロを使いゲーム形式で楽しく学んでいただける内容です。

また、研修参加者にはファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。

内 容	【1日目】 ◎ノーミング・セッションとグラウンド・ルール 1. プロジェクトマネジメントとは 2. ファシリテーションとは (1)ファシリテーションの2つの目的 (2)みんなの意見は案外正しい 3. 日本人の苦手なリスク・マネジメント (1)なぜ、日本人はリスク音痴(?)に？ (2)リスクを取らないとどうなるか？ 4. EVM によるコントロール (1)成功の鍵は定量管理 (2)基本用語と計算方法の確認 (3)練習問題 (4)将来予測による先読み 5. リスク・マネジメントとは？ (1)リスクとは？ (2)リスク管理の4ステップ (3)リスクの優先順位付け (4)2つのリスク対策	【2日目】 6. 情報セキュリティリスクについて (1)情報セキュリティの概要 (2)情報セキュリティの3要素 (3)ISMS と PDCA サイクル (4)セキュリティポリシー (5)情報セキュリティ対策の導入と運用 7. 情報セキュリティリスク・マネジメント (1)情報の分類と管理 (2)リスク評価 8. リスク・マネジメントゲーム (1)要求定義フェーズ (2)結合テストフェーズ ・個人/グループ演習 ・全体発表と講師講評	【3日目】 9. リスク登録簿を持ち帰る① (1)リスク登録簿の作成 ・プロジェクト目標・前提と制約条件 ・WBS 簡易版・個人/グループ演習 ・全体発表と講師講評 10. リスク登録簿を持ち帰る② (1)リスク登録簿の作成 ・プロジェクト目標・前提と制約条件 ・WBS 簡易版・個人/グループ演習 ・全体発表と講師講評 11. 先読み力向上「5つの習慣」 ◎総まとめ ・自己成長のための指針
日 時	10月23日(水)～25日(金) 9:30～17:30(最終日は17:00まで)		
受講料	¥82,500 (消費税込・教材費込)		
定 員	16名		
対 象 者	現在 IT プロジェクトにメンバー又はマネージャーとして携わっている方、今後予定されている方		
前提知識	IT プロジェクトに参加した経験 5年以上。 (※本研修では主として「実行」～「監視・コントロール」プロセス群を扱います。「立上げ」と「計画」プロセス群は「失敗しないプロジェクトのための段取り力」を受講下さい。)		

2日間

顧客の心をつかむ IT ソリューション提案の実践

顧客の真のニーズを見つけ出し、顧客の心をつかむ IT ソリューションを提示する方法を学習します。
 「顧客に関する情報収集の仕方」、「顧客との接触の仕方」、「顧客ニーズの引き出し方」、「顧客が真に望む解決案の提示」といったスキルを習得します。
 仮説・検証提案一連のプロセスを知り、顧客が真に望むソリューションを提示するノウハウを身に付けます。
 (提案書を作成する研修ではありません。)

内 容	【1日目】	【2日目】
	<ol style="list-style-type: none"> IT 提案で考えるポイント <ol style="list-style-type: none"> IT 提案とは IT 提案のスタイル 仮説検証型提案のアプローチの全体像 <ol style="list-style-type: none"> 提案の付加価値を高める 付加価値を高める提案アプローチ 【アプローチ①】提案活動のキッカケ <ol style="list-style-type: none"> キッカケにいかにかアンテナをはるか RFP から提案を作るには 【アプローチ②】顧客情報の収集・分析 <ol style="list-style-type: none"> 情報収集の方向性 顧客情報の収集 収集した情報を分析する よくある情報化の課題を知る 【アプローチ③】仮説を立てる <ol style="list-style-type: none"> SWOT 分析から仮説を導き出す 収集と発散で仮説を作る 仮説構築実習 事例問題に従い、RFP 等から情報を収集し、提案の仮説を構築する 	<ol style="list-style-type: none"> 【アプローチ④】顧客訪問 <ol style="list-style-type: none"> ヒアリングに関する準備 ヒアリングの実施手順 コミュニケーションを考える 【アプローチ⑤】顧客ニーズの確定 <ol style="list-style-type: none"> ヒアリング結果で仮説を検証 経営を変える情報活用手法 論理的に話を組み立てる 【アプローチ⑥】提案骨子の作成 <ol style="list-style-type: none"> 提案骨子で決めること 提案書の作成へ 提案骨子作成演習 <p>◎総まとめ</p>
日 時	10月31日(木)～11月1日(金) 9:30～17:00	
受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)	
定 員	16名	
対 象 者	顧客へ IT 提案を行う方、社内への情報化企画を考える方	

2日間

チームリーダーのための人に教える技術

～自分で考えて動ける人材を育てる～

IT プロジェクトを成功に導くためには「自分で考えて動けるメンバー」が必須になっているといえます。そのためにコーチングなどの手法による「気づき」を重視する場面が増えていきます。
 ただし、わからないことだらけの新人や、仕事があまくこなせていないメンバーには、コーチングとともに、きめ細かく丁寧に教えるティーチングも必要になります。
 つまり、「気づき」の元となる「知識」は教える必要があり、そのうえで、学ぶ意欲を高める「教え方」をすることが大切です。
 この研修では IT プロジェクトを成功に導くための「自分で考えて動けるメンバー」を育てる「教え方」を様々な角度から学びます

内 容	【1日目】	【2日目】
	<ol style="list-style-type: none"> 「教える」とはということ？ <ol style="list-style-type: none"> 「教える」とはどういうこと？ 「教える」ときに発生する障害とは 「教える」ために学ぶこと 教える前に行うべき準備とは <ol style="list-style-type: none"> 相手に教える前準備の「質問」 自分を知り、相手を知って教える 「知識を教える技術」を考える <ol style="list-style-type: none"> 「教え方」についての誤解 教え上手な「指示」の出し方 基本的な学習モデルについて 上手な「知識の教え方」を知る <ol style="list-style-type: none"> 仕事の全体像とつながりを見せる 相手に「正確」に伝える 知識を定着させる教え方 	<ol style="list-style-type: none"> 「ちゃんとやりなさい」から抜け出す <ol style="list-style-type: none"> 一方的に話しては相手は納得できない なぜ、何を学ぶのかが曖昧では動けない 尊重の気持ちなしでは相手に届かない 「意欲(モチベーション)」とは何か？ <ol style="list-style-type: none"> モチベーションとは何か モチベーションに関する理論 メンバーのモチベーションを上げるには 意欲を引き出す教え方とは <ol style="list-style-type: none"> 学ぶ場を楽しいと感じる雰囲気づくり 教える人の心構えと意識 目標の達成をサポートする メンバーの「行動」を変化させる教え方 相手の癖や性格で教え方に变化 場面別のメンバーの教え方 <p>◎総まとめ</p>
日 時	11月7日(木)～8日(金) 9:30～17:00	
受講料	¥55,000 (消費税込・教材費込)	
定 員	16名	
対 象 者	「自分で考えて動ける人材」の育成を必要とする方	

4.プロジェクトマネジメント

5日間

PMP®試験準備講座

PMI®のスペシャリティコースとして登録された“PMP Preparation Course”です。受験までに必要な知識を解説するほか、受験にあたっての心構えや手引きなどを解説します。前半2日間(14時間)と後半3日間(21時間)から構成されます。前半ではプロジェクトマネジメントの基礎用語、考え方やPMP®試験で求められるプロジェクト・マネージャーの mindset を学びます。後半では PMI®のコンテンツを基にした模擬問題を通して、関連する内容の解説や掘り下げを行います。

内 容	【前半 2日間】 1. プロジェクトマネジメントの基礎用語や考え方を学ぶ(1/2) 2. プロジェクトマネジメントの基礎用語や考え方を学ぶ(2/2) 3. アジャイル/ハイブリッド開発	【後半 3日間】 4. 受験にあたっての心構えや手引き解説 5. PMI®のクローン問題集を基にした模擬試験問題への取組み/振り返り/解説(1/3) 70問程度 6. PMI®のクローン問題集を基にした模擬試験問題への取組み/振り返り/解説(2/3) 70問程度 7. PMI®のクローン問題集を基にした模擬試験問題への取組み/振り返り/解説(3/3) 70問程度
日 時	8月26日(月)~27日(火)・9月24日(火)~26日(木) 9:30~17:30	
受講料	¥165,000(消費税込・教材費込) ※教材にはPMBOK®ガイド第7版が含まれます。	
定 員	12名	
対 象 者	PMP®資格取得を目指す方	
備 考	・教材としてPMBOK®ガイド第7版を配布します。 ・講座終了後、PMI®のアンケートに答えることにより、受験のための35時間の公式学習時間がPMI®によって認められます。	

1日間

ムダ(ロスコスト)削減講座【トラブル事例よりプロジェクトマネジメントを振り返る】

PDU

~同じ間違いをくり返し不利な交渉に巻き込まれないために~

相変わらず、同じようなトラブルが報告されています。このようなトラブルを削減するためには、トラブル事例を分析し多くの教訓を得なければなりません。さらに、そのような失敗要因を発生させるためのアイデアを考えることにより、新たな気づきを得ることもできます(サポーター・アナリシス*1)。

最近の多くのIT訴訟では「プロジェクトマネジメント義務違反」が争点になるなど、プロジェクトマネジメントの範囲も変化してきています。また、日経コンピュータでのプロジェクトの成功の定義もコスト、納期、品質から、コスト、納期、満足に変化しており、満足(価値)を実現するプロジェクトを強く意識する必要があります。そのためのマネジメントの変化も求められます。

当研修は、トラブル事例を分析することにより、実務的な新たな気づきと今後のあるべきマネジメントを学ぶ研修です。

*1:「サポーター・アナリシス」は、どうやったらそのリスクが実際に起きるかを考えるところからスタートする、ユニークなリスク・マネジメント手法。

内 容	1. トラブル事例(契約、品質など)より学ぶ(分析、討議、講義) (サポーター・アナリシスの手法も取り扱います) 2. PMBOK®でのあるべき姿 3. 不利な交渉条件を避けるために 4. 振り返りとまとめ
日 時	9月17日(火) 9:30~17:30
受講料	¥38,500(消費税込・教材費込)
定 員	12名
前提知識	プロジェクト経験者
対 象 者	事例よりマネジメントのあるべき姿を身につけたい方 変化に対応するために今後のマネジメントの傾向を知りたい方
備 考	PMI®の登録プログラムです。Project Management Professional (PMP)® の資格維持・更新のための7 PDUsを取得できます。



プロジェクト・マネージャーのための要求マネジメント力強化講座
～要求を原因としたプロジェクトの失敗をなくし、不利な交渉条件を避ける～



改善してきたとはいえプロジェクトの半数がまだ失敗しており、要求定義(要件定義)が相変わらず失敗の主要因になっています。なぜこれほどまでに同じ間違いを繰り返すのか、真剣に要求(要件)のマネジメント力を強化しなければ顧客の信頼を勝ち取ることができません。
顧客の真のニーズを掴み、顧客の課題を解決できる存在になるために必要な要求マネジメントの考え方を、グループ討議と講義により身につける研修です。(例:なぜ、手戻りが発生するのか、なぜ、作ったのに使われないのか・・・)
最近の話題でもあるビジネスアナリストとプロジェクト・マネージャーとの関係(仕事の責任と役割分担)も整理します。

内 容	1. 要求上の問題点(グループ討議) どのような問題が発生しているか 2. 重要な問題を選別する 3. 選別した問題の原因を分析する 4. どのようにマネジメントすべきかを導く 5. 振り返りとまとめ ※質問や討議を適宜取り入れて進めていきます。(考えることを重視します。)
日 時	9月18日(水) 9:30~17:30
受講料	¥38,500 (消費税込・教材費込)
定 員	12名
前提知識	プロジェクト経験者
対 象 者	要求マネジメントにより、プロジェクト価値を高めムダのないプロジェクト運営を実現したい方。 (営業ご担当の方もご参加ください)
備 考	PMI®の登録プログラムです。Project Management Professional (PMP)® の資格維持・更新のための7PDUを取得できます。



プロジェクト・マネージャーのためのプロジェクト交渉力強化講座
～交渉力でリーダーシップを発揮しプロジェクトを成功させる～



多くの方が交渉に対し“嫌い”で“苦手”と述べています。
交渉の基本は WIN-WIN であるとの理解が広まっていますが、交渉の現場では多様な人がおり、WIN-WIN の交渉がなされているわけではありません。LOSE の立場になってしまうこともあり、交渉が終わった後に、仕方がないと言い訳を考え、気持ちを切り替えることがよくあります。
当研修では、交渉の現場で起こっている問題点を洗い出し、本来の交渉のあるべき姿を導き、現場で実践できる基礎能力を身につけます。

内 容	1. ビジネス交渉に必要なスキル 2. 交渉への心構え(認識や感情の取り扱い) 3. 交渉の準備(演習:トライアル交渉からの気付き) 4. 交渉をどのようにマネジメントすべきかを考える 5. 被害者にならないために(交渉のテクニックを知る) 6. ロールプレイ 7. 振り返りとまとめ ※質問や討議を適宜取り入れて進めていきます。(考えることを重視します。)
日 時	11月13日(水) 9:30~17:30
受講料	¥38,500 (消費税込・教材費込)
定 員	12名
前提知識	プロジェクト経験者
対 象 者	プロジェクト・マネージャーとして ・交渉力の基本を体系立てて身につけたい方 ・交渉力によりリーダーシップを発揮したい方 ・関係者と建設的な信頼関係を築きたい方 ・交渉する場面が増える方 ・交渉が苦手な方

2日間

プロジェクトマネジメント実践(プロジェクトシミュレーション)講座

～チームマネジメントの傾向・弱点の発見と問題発見・分析力強化を図る～

PDU

臨場感溢れたプロジェクト・シミュレーションソフト(OnTrack)を用いて、総合的なPMあるいはリーダーとしての判断力・統率力を高めます。

プロジェクトの実行と監視・コントロールをシミュレーションソフトによって体験学習します。そこでは、研修だから許される「失敗」(および「成功」)があります。シミュレーション結果を振り返ることで、失敗からの学びができます。これは、現場に置き換えて考えることにより、気づきの質を高めることができます。

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・疑似体験を通して、プロジェクト・マネージャーとして改善すべき点、推奨すべき点に気づきを得る。 ・振り返りのレポートを作成し、顕在化した問題の原因分析力の質を高める。 ・プロジェクトマネジメントの知識は理解していても、実際のプロジェクトマネジメントにマイナスの影響を与える自身の傾向を認識する。 ・いろいろなプロジェクト状況に対して、下す判断の判断基準を揺るぎないものにする。 	
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. PM 知識の整理 2. 計画 3. シミュレーション(前半) 4. 結果報告 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 決定事項振り返り(1) 2. 個人振り返り 3. 再計画 4. シミュレーション(後半) 5. 結果報告 6. 決定事項振り返り(2) 7. 個人振り返り 8. 全体振り返りと整理
日 時	11月14日(木)～15日(金) 9:30～17:30	
受 講 料	¥71,500 (消費税込・教材費込)	
定 員	12名	
前提知識	特にありません	
対 象 者	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトメンバーとしてプロジェクトへ参加した経験がある方 ・今後、リーダー、マネージャーとしてプロジェクトを遂行する立場になる方 	

5.一般ユーザー研修

◆Microsoft Office のバージョンについて◆

Microsoft Office の研修は Office2019 のバージョンで実施いたします。

Office2021、Office2016 等、他のバージョンでの実施も可能ですので、お気軽にご相談ください。

2日間 Word 2019 基礎

基本的な文書の作成・編集方法を学びます。

文書の作成、編集、印刷などの基本操作をはじめ、表の作成、書式の設定、イラストや効果文字を盛り込んだ文書の作成などを実習します。

内 容	●Word の基本操作 ●文書の作成 ●文書の印刷 ●表の作成 ●文書の編集 ●表現力をアップする機能
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30～16:30
受講料	¥24,200 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	マウス操作、日本語入力のできる方

1日間 Word 2019 応用

図形や図表、写真などにさまざまな効果を付けた文書の作成や差し込み印刷、スタイルを利用して見栄えのする長文に仕上げる方法、コメント・変更履歴などを使って文書を校閲する方法など、応用的かつ実用的な機能を実習します。

内 容	●図形や図表を使った文書の作成 ●写真を使った文書の作成 ●差し込み印刷 ●長文の作成 ●文書の校閲 ●Excel データを利用した文書の作成 ●便利な機能
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30～17:30
受講料	¥17,600 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Word 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

2日間 Excel 2019 基礎

表の作成や編集、関数を使った計算処理、グラフの作成、印刷などの基本操作をはじめ、複数シートの操作、データの並べ替え・抽出などの機能を実習します。

内 容	●Excel の基本操作 ●データの入力 ●表の作成 ●数式の入力 ●複数シートの操作 ●表の印刷 ●グラフの作成 ●データベースの利用
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30～16:30
受講料	¥24,200 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	マウス操作、日本語入力がスムーズにできる方

2日間 Excel 2019 応用

関数を使った計算やグラフィックの作成、ピボットテーブル・ピボットグラフの作成、マクロ機能など、応用的かつ実用的な機能を実習します。

内 容	●関数の利用 ●表作成の活用 ●グラフ・グラフィックの活用 ●データベースの活用 ●ピボットテーブルとピボットグラフの作成 ●マクロの作成 ●便利な機能(検索・置換、最終版など)
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30～16:00
受講料	¥26,400 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Excel 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

2日間 **Excel2019
ビジネス活用《関数編》**

請求書の作成、売上データの集計・分析、顧客データの表記を統一する、従業員データを多角的に統計するなど、ビジネス事例を想定し、約60個の関数を実習します。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●関数の基本 ●請求書の作成 ●売上データの集計 ●顧客住所録の作成 ●社員情報の統計 ●賃金計算書の作成 ●出張旅費伝票の作成
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~16:30
受講料	¥26,400 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Excel 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

1日間 **PowerPoint 2019 基礎**

スライドの作成や編集、プレースホルダの編集などの基本的な操作をはじめ、写真・イラストやグラフ、表、図形などを取り入れた表現力のあるプレゼンテーション資料の作成について実習します。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●PowerPoint の基礎知識 ●プレゼンテーションの作成 ●表の作成 ●グラフの作成 ●図形や SmartArt グラフィックの作成 ●画像やワードアートの挿入 ●特殊効果の設定 ●プレゼンテーションをサポートする機能
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~16:30
受講料	¥13,200 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Word 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

2日間 **Excel 2019 マクロ / VBA 入門**

マクロ記録で単純な処理を自動化する方法や、VBE でマクロを編集する方法を解説します。データ入力処理、データ検索処理、印刷処理などを取り入れた実用的なシステム作成を実習します。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●マクロの作成 ●マクロの編集 ●モジュールとプロシージャ ●変数と制御構造 ●販売管理プログラムの作成 ●デバッグ
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~17:00
受講料	¥40,700 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	「Excel 応用」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

3日間 **Word & Excel & PowerPoint 速習**

ビジネスで必要不可欠なアプリケーションである文書作成ソフト「Word」、表計算ソフト「Excel」、プレゼンテーションソフト「PowerPoint」の基本操作からアプリケーションの連携操作まで、短期間で修得することができます。

内 容	<p>【Word】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Word の基礎知識 ●文書の作成と印刷 ●グラフィック機能の利用 ●表の作成 <p>【Excel】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Excel の基礎知識 ●表の作成 ●グラフの作成 ●データベースの利用 <p>【PowerPoint】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●PowerPoint の基礎知識 ●プレゼンテーションの作成 ●プレゼンテーションの実行 <p>【OLE】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Word・Excel・PowerPoint の連携
日 時	日程についてはご相談ください 研修時間 9:30~16:30
受講料	¥28,600 (消費税込・教材費込)
定 員	10名
対 象 者	マウス操作、日本語入力がスムーズにできる方

2日間

Access 2019 基礎

「売上管理」データベースの構築を通して、リレーショナルデータベースの仕組み、データの格納、データの抽出や集計、入力画面の作成、各種報告書や宛名ラベルの印刷などを実習します。

内 容

- Access の基礎知識
- データベースの設計と作成
- テーブルによるデータの格納
- リレーションシップの作成
- クエリによるデータの加工
- フォームによるデータの入力
- クエリによるデータの抽出と集計
- レポートによるデータの印刷

日 時

日程についてはご相談ください
研修時間 9:30~16:30

受講料

¥28,600 (消費税込・教材費込)

定 員

10名

対 象 者

「Excel 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

2日間

Access 2019 応用

効率よく作業を進めるテクニックとして、さまざまな関数の利用、アクションクエリの作成、メイン・サブフォームやメイン・サブレポートの作成などを実習します。

内 容

- テーブルの活用
- リレーションシップと参照整合性
- クエリの活用
- アクションクエリと不一致クエリの作成
- フォームの活用
- メイン・サブフォームの作成
- メイン・サブレポートの作成
- レポートの活用

日 時

日程についてはご相談ください
研修時間 9:30~16:30

受講料

¥33,000 (消費税込・教材費込)

定 員

10名

対 象 者

「Access 基礎」ご受講の方、もしくは同等の知識をお持ちの方

試験のご案内

CBT 方式による各種試験会場として認定されています。

当社では以下の試験を受験できます。

試験の概要・スケジュールなど、詳細は下記試験実施機関もしくは弊社までお問い合わせ下さい。

オデッセイコミュニケーションズ

マイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS)

バージョン 2019&365、2016 各科目

※試験の詳細は MOS 公式サイトをご覧ください。

<https://mos.odyssey-com.co.jp/index.html>

Odyssey CBT

各種専門知識の試験

- ・統計検定
- ・VBA エキスパート
- ・Python エンジニア認定試験
- ・PHP 技術者認定試験 など

※試験の詳細は Odyssey CBT 公式サイトをご覧ください。

<https://cbt.odyssey-com.co.jp>

CBTS 認定テストセンター

IPA 情報処理技術者試験

- ・情報セキュリティマネジメント試験
- ・基本情報技術者試験

日商簿記 2 級・3 級

ICT 支援員認定 など

※試験の詳細は CBT ソリューションズのホームページをご覧ください。

<https://cbt-s.com>

ビジネス能力認定サーティファイ

Web クリエイター能力認定試験

コミュニケーション検定

※試験の詳細はサーティファイのホームページをご覧ください。

<https://www.sikaku.gr.jp>

その他のご案内

◆パンフレットの内容に関して

当社研修は外部講師で成り立っておりますので、止むを得ず講師変更や日程変更が発生する場合があります。変更があった場合の最新の日程についてはホームページにて随時掲載いたします。最新の情報については、ホームページをご確認ください。

申込者の状況、実施時点での技術動向、講師の実務経験等により最適な研修を実施することを心がけております。したがって記載内容を変更することもございますのでご了承ください。

◆年間研修計画提示のお願い

年間研修計画をお持ちで当社研修へ派遣計画がある場合、円滑に遂行できるよう計画書をいただきたくお願い申し上げます。様式は問いませんので「どの研修に何人」という資料で結構です。

また、本申込としては扱いませんので実際の受講義務は発生しません。

本申込は都度ご連絡願います。

作成します!! オリジナルコース

企業・団体様のご要望により、各種IT研修を実施しております。ご希望の日時・人数・ご予算等に応じて研修カリキュラムを作成いたします。お気軽にご相談ください。

[研修実施例]→

新入社員向けパソコン基礎研修

社員向けパソコン基礎研修……etc.

助成金のご案内

正社員の職務に必要な知識・技能の向上のために人材開発支援助成金を使ってみませんか？

助成金の詳細については、厚生労働省のホームページ、または岩手労働局職業対策課分室へお問い合わせ下さい。

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合や人材育成制度を導入し労働者に適用した際に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。詳細については、ホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

【人材育成支援コース】

・職務に関連した知識や技能を習得させるため、OFF-JTにより実施される **10 時間以上**の訓練

助成額及び助成率	中小企業		中小企業以外	
		賃金要件又は資格等手当要件を満たす場合		賃金要件又は資格等手当要件を満たす場合
経費助成	45%	60%	30%	45%
賃金助成(1人1時間あたり)	760円	960円	380円	480円

◆利用できる事業主

- ・雇用保険の適用事業所
 - ・職業能力開発推進者の選任、事業内職業能力開発計画、職業訓練実施計画届の作成 など
- ※助成金受給に際しては他にも要件があります。

◆助成対象となる訓練形態

- ・事前に申請手続きを行い、認定された講座
- ・実訓練時間数の8割以上出席すること

◆対象者

- ・雇用保険の被保険者

◆支給限度額など

- ・助成対象となる訓練コース数は1人あたり1年度3コースまで
- ・1事業所が1年度に受給できる助成上限額は1,000万円

◆助成金活用例(岩手県内中小企業の例)

受講期間 3日間(20.5時間)

受講料 82,500円(消費税込) の場合

経費助成	37,100円	経費(82,500円)の45%
賃金助成	15,500円	760円×20.5時間
合計	52,600円	
実質負担額	29,900円	

※制度・内容が改正されている場合があります。最新の情報は厚生労働省のホームページをご確認ください。

研修受講のご案内

◆研修内容について

受講者の実務経験、実施時点での技術動向等を鑑み、より最適な研修を実施することを心がけております。ソフトウェアやライブラリの更新、最新の情報に沿った研修内容へ改善のため、趣旨を逸脱することなく研修内容を更新させていただくことがあります。予めご了承ください。

◆研修実施方法について

感染症等の拡大状況等、諸般の事情により、研修実施方法を集合研修からオンライン研修などに変更する場合がございます。最新の情報はホームページにてご案内いたします。

◆お申込み

受講申込書に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、E-Mailのいずれかでお申し込みください。お申込みはなるべく**開催1ヶ月前**、遅くとも2週間前までにご連絡願います。研修開催2週間程前に請求書と受講票をお送りいたします。なお、受講申込書は当社ホームページに様式がございますのでダウンロードの上ご利用ください。

◆お申込み特典

研修**2週間前までに3名様以上**まとめてお申込みいただいた場合、**受講料が10%OFF**になります。
※新入社員研修(全科目受講・科目選択受講)及びPMP®試験準備講座は割引対象外となりますので、ご了承ください。

◆受講料のお支払いについて

受講料は請求書をご確認の上、**研修開催の前日まで**に指定の口座へお支払いください。なお振込手数料はお客様のご負担にてお願いいたします。研修開始から**7営業日以内**の受講申込取消につきましては、**受講料を全額ご負担いただきます**ので、あらかじめご了承ください。

◆その他

申込者数や講師の都合などにより、研修内容や研修日程の変更、あるいは研修の開催を中止する場合がございます。当社研修では最小催行人員の規定はありません。科目ごとの事情により変動いたしますのでご了承ください。

◆研修会場のご案内

マリオスへはJR盛岡駅2階北側から西口自由通路(さんさこみち)をご利用ください。当社までは公共交通機関をご利用になるのが便利です。なお、マリオスに隣接する盛岡駅西口駐車場は有料です。駐車料金は受講者のご負担となりますのでご了承ください。

2024～2025 研修カレンダー

5・8～9 「コンピュータシステムの基礎」
 10～12 「システム開発の基礎」
 15～19 「Java プログラミング①」
 23～26・30
 「Java プログラミング②」

2024年4月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2024年5月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1～2・7 「Java プログラミング②」
 8～10・13
 「データベース入門」
 14～16 「ネットワーク基礎と Web ページ作成
 実習」
 17・20～24
 「サーバサイドプログラミング」
 27～31 「最終課題 アプリケーションの設
 計と実装」

3～5 「最終課題 アプリケーションの
 設計と実装」
 26～27 「C#プログラミング基礎」

2024年6月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2024年7月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11～12 「IT 技術者のためのコミュニケーション」
 18～19 「Rust プログラミング基礎」
 24～25 「IT 技術者のためのドキュメンテーション」
 29～30 「Java プログラミング基礎」

21～22 「Flutter アプリ開発入門」
 26～27 「PMP®試験準備講座」

2024年8月						
月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2024年9月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

4～6 「IT 技術者のためのネゴシエーション」
 11～13 「失敗しないプロジェクトのための
 段取り力」
 17 「ムダ(ロスコスト)削減講座」
 18 「プロジェクト・マネージャーのため
 の要求マネジメント力強化講座」
 24～26 「PMP®試験準備講座」

16～18 「IT 技術者のためのリタ-シップと
 チ-ムビルディング」
 23～25 「失敗しないプロジェクトのための
 リスク先読み力」
 31 「顧客の心をつかむ IT ソリューシ
 ョン提案の実践」

2024年10月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2024年11月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

1 「顧客の心をつかむ IT ソリューシ
 ョン提案の実践」
 7～8 「チ-ムリタ-のための人に教える
 技術」
 13 「プロジェクト・マネージャーのため
 のプロジェクト交渉力強化講座」
 14～15 「プロジェクトマネジメント実践
 (プロジェクトシミュレーション)講座」
 20～21 「Power Platform によるロ-コ-ド AI
 アプリ開発入門」

5～6 「OpenAI API 応用プログラミング
 講座」

2024年12月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2025年1月						
月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2025年2月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

2025年3月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

(株)岩手ソフトウェアセンター 研修担当 行
FAX 019-621-5464

受講申込書

受講研修名	研修開催日	受講料(消費税込・教材費込)
	月 日～ 月 日	円

フリガナ	所属部署・役職		
受講者名1			
生年月日	年 月 日(才)	性別	男・女

フリガナ	所属部署・役職		
受講者名2			
生年月日	年 月 日(才)	性別	男・女

フリガナ	所属部署・役職		
受講者名3			
生年月日	年 月 日(才)	性別	男・女

会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
申込責任者 氏名	申込責任者 所属・役職		
E-Mail			

※ 複数枚必要な場合はコピーの上でお使いください。

※ 研修開始 7 日以内の受講申し込み取消は受講料・教材費・消費税を全額お支払い頂きます。

【個人情報保護に関して】

※ 受講者の個人情報は研修運営の目的においてのみ使用いたします。

※ 窓口担当者の方の情報に関しては研修事務連絡のほか、当社からの研修案内の送付等に活用させていただきます。他社への情報開示等は一切行いません。

株式会社 岩手ソフトウェアセンター
TEL 019-621-5454 FAX 019-621-5464

お申込み・お問い合わせ

株式会社岩手ソフトウェアセンター
(研修担当まで)
〒020-0045
岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号
マリオス 9F

[TEL] 019-621-5454
[FAX] 019-621-5464
[E-Mail] seminar@isop.ne.jp
[URL] <http://www.isop.ne.jp/isc/>